

名前：

現在インターネットは世界中に広く普及して
いる。インターネットにうなぎさえすれば、
無料でニュースを見ることができ、また主
体的に情報を選ぶことができる。それでは、イ
ンターネットの台頭によって、新聞、雑誌は
不用なものとなってしまうのだろうか？

私の答えでは違うと思う。というのも、新
聞、雑誌はインターネットと結びつきなが
らも、人々に必要とされているからだ。

例えば、インターネットにあるニュースの
ほとんどが新聞社、またはテレビ局等がソ
ースを提供しており、また多くの人がそのニ
ュースも信用している。新聞社のブレンは
大きく、個人がニュースのソースを提供して
も、誰も信用はしないだろう。そして新聞社
の主な収入は新聞によるもので、もし新
聞がなくなったらネットにはニュースがほと
んどなくなってしまう。

また新聞という新媒体だからこそ、不正に
他の人と共用するということがない。信用に

足るニュースを得るには、どうしても費用が
発生する。ここでインターネット上で課金制
のニュース閲覧にしても、簡単に情報が不
特定の教に伝達されるので、ビジネスモデルが
成立しない、このような経済的な理由もある。

雑誌についてインターネットと共存す
だろう。新聞社と同じで、経済的な理由があ
るからだ。つまり、様々な要望を満たすため、
情報も収集するのだが、そのコストを回収す
るより方法がネットにはないということだ。

これから新聞、雑誌は必要であることは
述べたが、インターネットも有効に使い、そ
れを一つのメディアを通して、よりよい生活
を得るのが理想的である。現在のメディアの
システムの維持のため、お金を払って信用に
値する新聞、雑誌を読みながらいも、人々の意
見や需要が見込まれない情報、今の自分だけ
に必要な情報は、インターネットを用いて得
るべきである。